

福島市の指定有形文化財・花の写真館(旧日本電気計器検定所福島試験所・1922)が、日本建築防災協会の耐震改修優秀建築賞を受賞しました。

同館は、東日本大震災で大きな被害を受け、都市計画道路に当たっていることもあり一時は解体除却やむなしの空気だったのですが、建築学会のドクター診断にて文化的価値評価とともに補修方針の提案がなされ、一転保全の方針に覆りました。

耐震改修工事完成間近の昨年2月13日に福島県沖地震に見舞われましたが、軽微な損傷はあったものの修復が終わり現在は無事開館中です。

以前にもご紹介していますが、同施設は旧逓信省が東北、北海道、樺太地域の管轄を目的に東京、大阪に次ぐ全国3番目の福島試験所として、1922年(大正11年・関東大震災の前年)に建設されました。

建築基準法以前の建築物としても貴重な建造物です。

「花の写真館」となった経緯は、花見山を「桃源郷」として有名にした写真家の秋山庄太郎が写真展示施設を物色する中で「よし、ここにしよう」と一目見て気に入ったといいます。

二度の大震災を乗り越えた地域の価値ある歴史的建造物に、もう一つ勲章が増えたことは喜ばしい限りです。

関係者の皆様、改めておめでとうございます。



耐震改修優秀建築賞を受けた福島市写真美術館「花の写真館」

緊張されることで強度を高める「プレストレス工法」を用いた。石造建築の新たな耐震改修の補強方法を示した好例として高い評価を得た。

日本建築防災協会の今年度の耐震改修優秀建築・貢献者表彰で、福島市写真美術館「花の写真館」が耐震改修優秀建築賞を受賞し

花の写真館(福島) 優秀賞

日本建築防災協 耐震改修表彰

石造建築の補強方法評価


同館は東日本大震災で損壊した。復旧、耐震工事を経て昨年五月、十年ぶりにリニューアルオープンした。工事は福島市、県建築設計協同組合、ポータル総合計画事務所、三重大花里利一研究室、北茂紀建築構造事務所、安藤組が手掛けた。

文化財のため、既存の石積み工法を生かして修復を進めた。石に穴を開けて「PC鋼棒」と呼ばれる資材を通して引っ張り、





大正時代の希少な建築物




昭和初期の外観

建物は1922年(大正11年)、逓信省電気試験所福島試験所として建てられ、後に日本電気試験所福島試験所として使われた。石造2階建てで、寄棟、瓦葺きの建物であり、柱を患部するように上部がデザイン化されている。

玄関周りを外壁面から張り出すことで正面性を強調させ、屋根上部まで伸びたバルコニーやレリーフ、玄関廻り通りの高低差が建物を印象的なものとしている。

- 建設年 大正11年(1922年)
- 規模 地上2階建て、654.4㎡
- 構造 組積造：石積み
屋根内装材：木造
基礎：レンガ造
- 仕上 外壁：石造(珪灰石)
屋根：茅葺き
内部：床 緋緋板張り
壁 天井：しっくい塗り



逓信省電気試験所

福島市写真美術館として開館



写真美術館開館時の外観(平成7年撮影)

大正時代に建てられた近代建築の遺構として希少であることから2002年(平成14年)6月に福島市指定有形文化財に指定される。

2003年(平成15年)4月には「福島市写真美術館」(通称：花の写真館)として開館する。開館に合わせて1階部分と玄関ホールが建設当時の姿に復元される。遠境壁や天井、天井に当時の面影が見える。

写真家の森・秋山正太郎氏が、市内資料にある花園山公園を「福島には縁地帯がある」と全国に紹介し、福島市の観光に貢献したことから2001年(平成13年)10月に福島ふるさと受賞賞が贈られる。

その際に寄贈された作品を中心とする常設展示室と市民が自身の作品展示等に利用できるスペースを提供する施設として、これまで写真愛好家をはじめ多くの市民に親しまれてきた。



写真美術館

東日本大震災による被災



震災直後の外観(平成23年撮影)

2011年(平成23年)3月11日 東日本大震災により被災し、正面玄関上部の装壁(ペディメント)の亀裂・傾斜や内壁の崩落等により、全面使用中止を余儀なくされる。

一時は解体が決定されたが、建築関係団体有志による保存運動や文化財ドクターによる建物診断の実施など震災復旧を機に、自治体設置を含めた福島市の文化施設のあり方について市民の意見を聞くため、2013年(平成25年)に「文化施設のあり方検討委員会」を設置し、再整備の必要性について調査を受け、復旧再建へ動き出す。文化財審議会委員や建築造文化財専門家をはじめとした設計チームによる構造調査、耐震補強診断、修復設計、展示利用計画の策定等を実施。2019年(令和元年)8月から再整備工事に着手。

主な被災状況

- 1 正面玄関上部装壁の亀裂と傾斜
- 2 屋根瓦の破損による雨漏り
- 3 雨樋の破損と風雨時の落下
- 4 石積壁の亀裂や傾斜
- 5 しっくい壁・天井の剥落



文化財建造物の構造修復



構造補強シミュレーションCG

歴史的建造物における構造修復の考え方

- ① 建造物の利用における安全性の確保(人命の確保)
- ② 文化財価値を損わない最小限の補強(オリジナル性の保存継承)
- ③ 可能性のある修復設計方針と施工技術(将来技術の進歩)

構造補強方針

- PC鋼筋を用いたプレストレストレス方法
- 石積壁の妻外方両面向け強度の改善
- 基礎の妻内方耐力の向上
- 木造耐力材による屋根面の水平剛性の向上
- 鋼材による2階床面の水平剛性の向上
- ペディメントの復旧及び傾斜による補強
- 傾斜コンクリートによるレンガ造基礎の補強